

ミレ通信



オープンスクール in ミレ!

11月23日にミレ本校でオープンスクールが行われました。参加者は20名。中級、上級に分かれてミレの授業を体験していただきました。講師も受講生もとても熱が入りました。

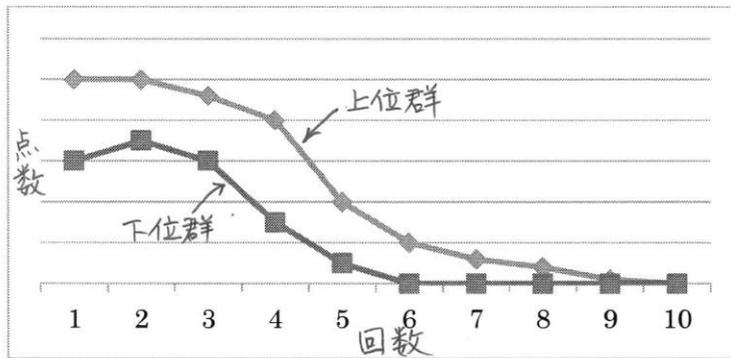
3Fホールで行われた合同講座では、多くの質問が出ました。ここで、そのQ&Aの一部を紹介します。

Q なぜ、4色ボールペンなのか?

A いい質問ですね。答える側にもちゃんと答があり、多くの受講生も、聞きたいそんな質問をする人は素晴らしいですね。

以前、聞き取りでは何回聞くのが適当なのか気になって実験したことがあるんです。

通訳翻訳クラスを上位群と下位群に分け、同じニュース音声を使って10回のディクテーションをし、1回目に書き取れたところは何点、2回目に書き取れたところは何点というふうに点数化して、それをグラフで表しました。そのポイントをまとめると次のようになります。



◆が上位群、■が下位群。横軸が回数、縦軸がディクテーションの点数です。このグラフをどうぞ覧になりますか?

上位群の方が、後々まで情報を拾っています。聞き取れないところも推測してあれこれ考えながら情報を拾っているんです。

それに対して下位群は、新情報を拾えなくなる状態(飽和状態といいます)が訪れるのが早いのです。

しかし両者とも5回を過ぎるともうほとんど新情報は拾えません。

つまり、同じ音声を聞いて新情報を拾えるのは5回程度で、わからないものは何回聞いてもわからないんです。10回聞こうが、100回聞こうが、知らない単語は聞き取れないのは当たり前のことです。つまり、聞く回数は5回程度で十分だということです。



聞き取れないからといって、何時間も粘るのは正直言って無駄です。ですからみなさんをご自宅でディクテーションする時は、5回程度を目安にして、分らないところに時間をかけすぎないことが肝心です。

あきらめが早すぎるのも感心しませんが、5回聞いてわからなければあきらめてスクリプトを見て確認し、シャドーイングを1回でも多くの方が得策です

以前は4色ボールペン+鉛筆+紫の色鉛筆+茶色の色鉛筆としていた時期もあります。その名残で今もミレには紫の色鉛筆が30本ほどあります。紆余曲折を経て「4色ボールペンディクテーション」に落ち着いたのです。



Q 聞き取りはできるのに、速く読めないのはどうしてか？

A 速く読むことを意識してこなかっただけです。心がけて練習すればすぐにできるようになります。

聞く(入力)、音読する(出力)も結局脳の言語処理の速度の問題です。両方密接に関係があります。

両方の速度を高めることを心がけてください。得意な方からまず少しずつ速くなって、それを追うような形で、もう一方も速くなっていきます。ただ速くなりたい、速くしようと日々心がけないと速くなりません。昨日より少しでも速く聞けるように、読めるようにと心がけてください。

Q ハングル検定と韓国語能力試験の違いは？

A いい質問ですね。こういう質問大事ですよ。みなさんが知りたいことですね。

ミレでは韓国語能力試験を中心に考えています。なぜかといいますと、それはですね……

(会場ではお答えしましたが、ミレロでは紙面の関係上省略します。)



(書籍にサインをしています)

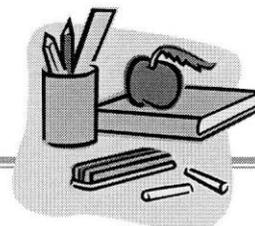
他にも学習法についてや、ミレの講座について質問がありました。皆さんの熱心さがとても伝わってきました。

また、休憩時間には、ミレの事務所で、添削風景をナマで見ていただいたり、添削の先生方とお話していただいだけ、ミレ本校ならではのオープンスクールとなりました。受講生だけではなく、添削スタッフにとってもよい刺激となりました。ご参加くださった皆さん、ありがとうございました。

次回は4月3日(日)に大阪駅前教室にてオープンスクールを開催いたします。ぜひ、ご参加ください。

通信添削の現場から

添削の先生から一言、二言……



通信添削を通して

内田 昌恵

早いものでミレに来てから2ヶ月が経ちました。通信生の皆さんの答えがびっしり書かれた答案用紙を見る度に、皆さんの韓国語学習に対する意気込みが伝わってきて、自分ももっと努力しなければと思わされる毎日です。ポイントを色鉛筆などで色分けして線を引かれている方、鼻音化など発音の変化が出てくる度にご自分で読み方どおりの発音をハングルで書かれている方など、みなさんそれぞれ工夫して勉強されているのがうかがえます。録音音声も回を追う事にどんどん上達されていたりするとこちらもうれしくなってきます。

突然ですが、皆さんは「チャングムの誓い」という韓国ドラマをご覧になりましたか？日本でも人気があったのでご覧になられた方も多いかと思います。私はそのドラマの中でとても印象に残った台詞がありました。主人公のチャングムが医女になる決意をする時に、医術の手ほどきをしていた師匠チャンドクがチャングムに言う台詞です。

「뭐가 돼도 되는 사람들의 특징이 뭔지 알아? 단순하고 열정적인 거야.」(30話)

字幕では「何でも成功できる人の特徴を？単純で情熱的なことよ」となっていますが、私はなるほど！と思いました。「単純で情熱的」いいと思いませんか？あれこれ思い悩まず夢に向かって突き進む。「꿈은 이루어진다!」です。(実はこの台詞には続きがあるのですが、それは置いといて^^;)通信講座を続けるのは並大抵のことではないと思いますが、こちらもしっかりサポートできるように努めますので一緒に頑張ってください！



都道府県 **広島** ペンネーム Apfelstudel
 今まで、試験(TOPIC)の結果を見て、たとえ合格していたとしても思うような結果が出ていない時は、しばらく沈んでいました。(しかし今回(第19回)は違いました。ミレを知ってから、自分の力を冷静に受け止めることができるようになりました。ミレのホームページやミレロ通信を見ると特に元気にられます。これも素晴らしい。ミレ効果、どうもね!!

事務局から

《ミレ大阪駅前教室開校!》

大阪駅前第3ビル17Fにて大阪駅前教室を開講します。「通訳翻訳基礎講座」「能力試験高級合格講座」の2講座です。どちらも土曜日の午後です。初日は、1月8日(土)。詳しくはHPをご覧になるか、お問い合わせください。

ミレ韓国語学院イベント 参加者募集中!

- **第4回(神戸必勝講座)**
 2011年3月20日(日) 9:30~16:30 《会場》 神戸(三宮)
 定員:中級(20名)、高級(30名) 受講料:20,000円(ミレ会員の方は16,000円)
- **第5回(東京必勝講座)**
 2011年3月27日(日) 9:30~16:30 《会場》 工学院大学(新宿)
 定員:中級(60名)、高級(60名) 受講料:20,000円(ミレ会員の方は16,000円)
- **オープンスクール in 大阪駅前教室**
 2011年4月3日(日) 13:00~16:30 《会場》 大阪駅前第3ビル17F
 定員:中級(30名)、上級(30名) 受講料:7,000円(ミレ会員の方は5,000円)



1月8日(土)より、教室はIV期の授業が始まります。大阪駅前教室も開講されますが、ミレ本校でも授業は行われておりますので、どうぞ見学を兼ねて、遊びに来てくださいね。

＜ミレスタッフ紹介＞

中級	作中 能中	姜明淑	添削	趙尚子 金順任 玉城典子 山田奈菜子 林和子
上級	金順任 原康子 前田真彦			張裕美 内田昌恵 丁理和 和田哲弥 李振河
				夫万季 石垣明子 呉季姫 徐東華
初級	梁薫心	その他		竹多章子 前田真彦

第11号は2011年1月1日発行予定です

